

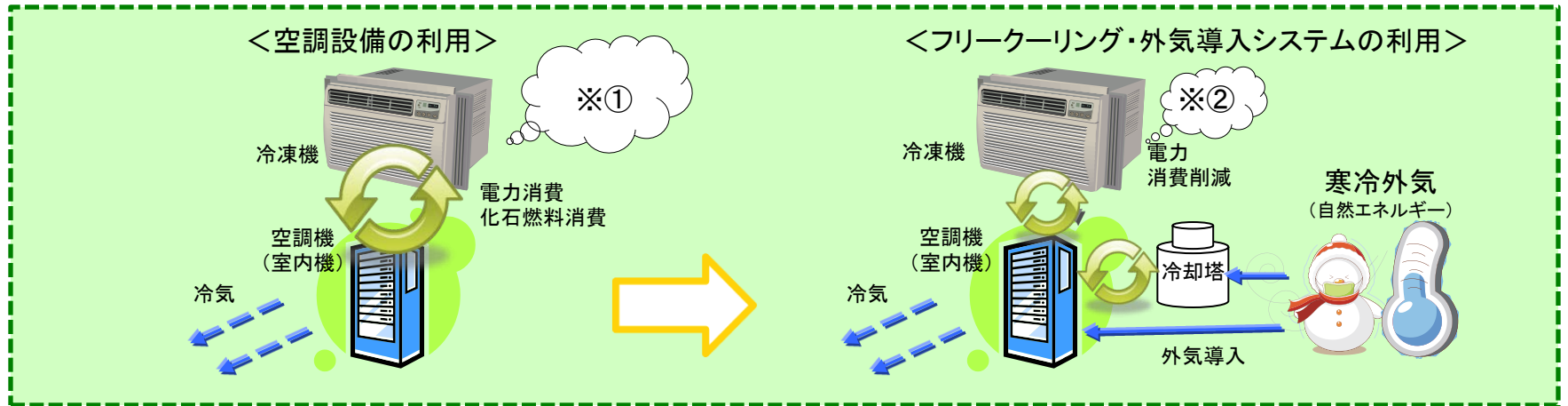
【プロジェクト概要】

フリークーリング(電力を使用しない静止型顕熱交換器を使用した冷却システム)及び外気導入(冷たい外気を加湿して使用する冷却システム)等、自然エネルギーを利用した空調を導入することで、空調関連設備の電気使用・化石燃料消費に伴うCO2排出量を削減する

【プロジェクトの適格性基準】

- 条件1. 自然条件を利用し冷凍機等の電力使用量または化石燃料を削減する技術であること
- 条件2. ベースラインは、従来空調の継続利用とすること
- 条件3. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと

排出削減量の算定で考慮する範囲



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

- ①従来空調利用に伴う電力消費・化石燃料消費に伴う排出
(直接計測の場合：フリークーリング等での冷却熱量・冷媒量、冷凍機での冷却熱量・冷媒量、空調の年間電力(または化石燃料)使用量)
(削減率データ利用の場合：当該地域の日次平均外気温、空調の日次電力(または化石燃料)使用量、外気温条件ごとの削減率(メーカー提供))
- ②フリークーリング・外気導入システムの利用実施後の、空調利用に伴う電力消費・化石燃料消費に伴う排出
(空調の年間電力使用量、空調の年間化石燃料使用量、化石燃料単位発熱量(デフォルト値使用可))

情報通信技術を活用した、輸送方法の効率化による燃料消費量削減

参考2

【プロジェクト概要】

情報通信技術(ICT)を活用し、ガスボンベ等の輸送方法を効率化することで、輸送にかかる化石燃料消費量を削減する

【プロジェクトの適格性基準】

条件1. 削減される燃料が、化石燃料であること。

条件2. 情報通信技術(ICT)を活用し、輸送方法の効率化を行なうことで、化石燃料が削減されること。

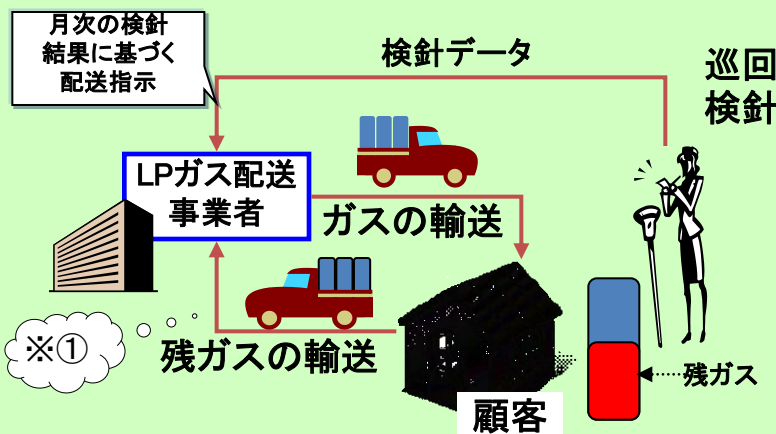
条件3. 輸送車両が、特定可能であること。

条件4. 各車両による輸送距離及び輸送量が特定可能であること。

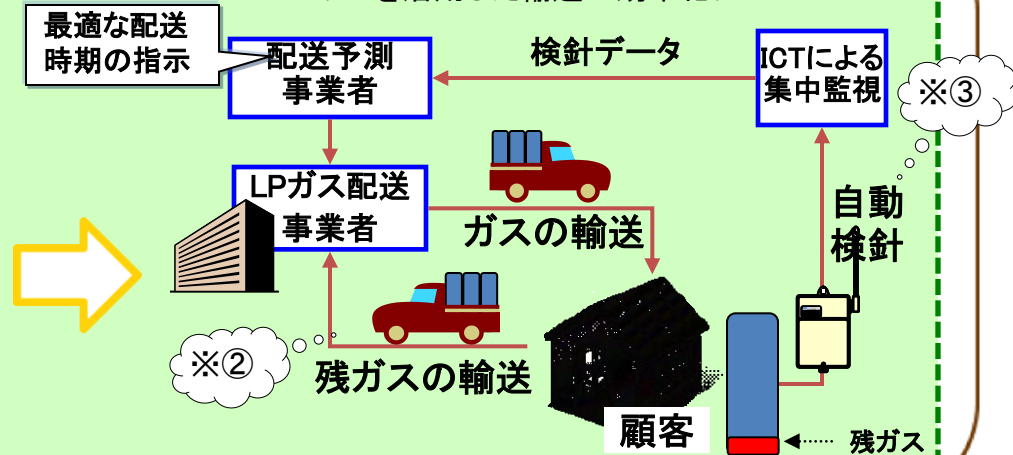
条件5. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと。例えば、投資回収年数が3年以上であること

排出削減量の算定で考慮する範囲

<従来通りのガスボンベ等の輸送>



<ICTを活用した輸送の効率化>



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

①従来のガスボンベ等の輸送のための車両による排出

(年間配送回数、1回の配送当たりの平均走行距離(過去一年間分)、輸送重量、輸送車両の燃費効率、化石燃料の単位発熱量)

②ICTによる集中監視設備導入後の、ガスボンベ等の輸送のための車両による排出

(年間配送回数、輸送重量、輸送車両の燃費効率、化石燃料の単位発熱量)

③ICT設備の稼働のための電力消費に伴う排出

(電力消費量、稼働時間、定格電力)

情報通信技術を活用した、検針等用車両による燃料消費量削減

参考2

【プロジェクト概要】

情報通信技術(ICT)を活用し、ガス使用量等の検針等用車両による化石燃料消費量を削減する。

【プロジェクトの適格性基準】

条件1. 削減される燃料が、化石燃料であること。

条件2. 情報通信技術(ICT)を活用し、これまで行なっていた巡回検針等の業務を省略し、移動のための化石燃料が削減されること。

条件3. 検針等を行っていた場所が特定できること。

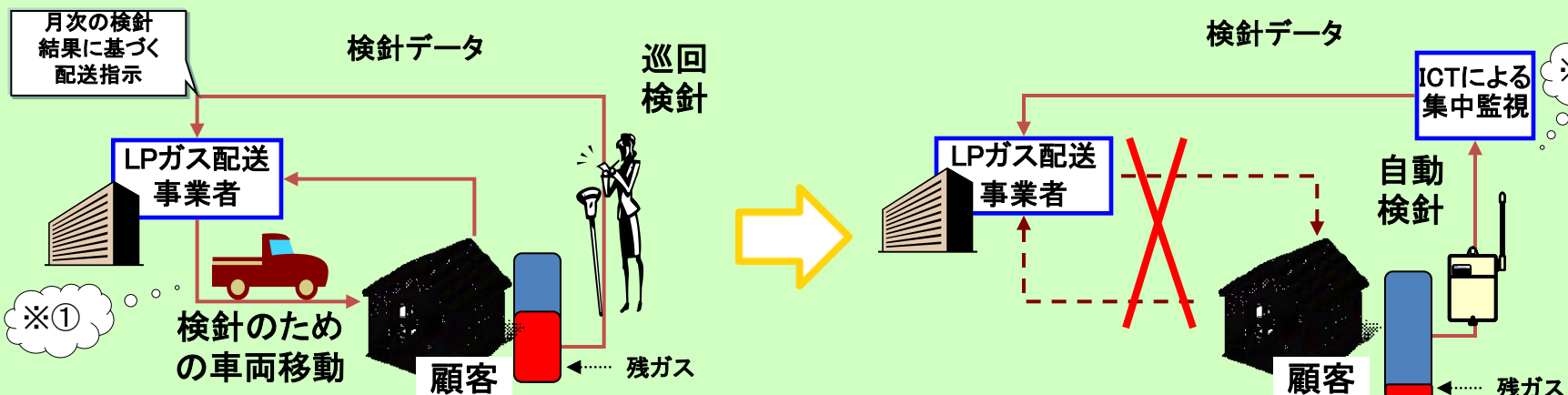
条件4. 検針等用車両が、特定可能であること。

条件5. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと。例えば、投資回収年数が3年以上であること

排出削減量の算定で考慮する範囲

<従来通りの車両による巡回検針>

<ICTを活用した遠隔検針>



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

①従来のガス消費量の巡回検針用車両による排出

(燃料法による算定の場合: 自動車の年間燃料消費量、化石燃料の単位発熱量)

(燃費法による算定の場合: 年間輸送距離、輸送車両の燃費効率、化石燃料の単位発熱量)

②ICT設備の稼働のための電力消費に伴う排出

(電力消費量、稼働時間、定格電力)

【プロジェクト概要】

既存の照明設備を高効率のものへ更新することで、排出量の削減を行う

【プロジェクトの適格性基準】

条件1. 既存の照明設備の更新であること

条件2. 導入する照明設備は、代替される照明設備より高効率であること

条件3. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと

排出削減量の算定で考慮する範囲

< 既存照明設備 (例) >



40W 蛍光灯
2本

更新

< 更新後の照明設備 (例) >

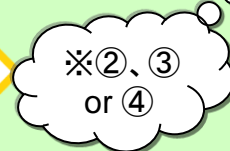


32W 蛍光灯 1本
+ 反射板設置



60W
白熱電球

更新



7.8W
LED電球

※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

① 代替される照明設備の瞬時電力使用量 (実測データ、またはカタログ値)

< 導入する照明の年間電力使用量を計算により求める場合 >

② 導入する照明設備の瞬時電力使用量 (実測データ、またはカタログ値)

③ 照明設備の年間稼働時間 (実測データ、または保守的な管理データ、推定データ)

< 直接計測により年間電力使用量を求める場合 >

④ 導入する照明設備の年間電力使用量

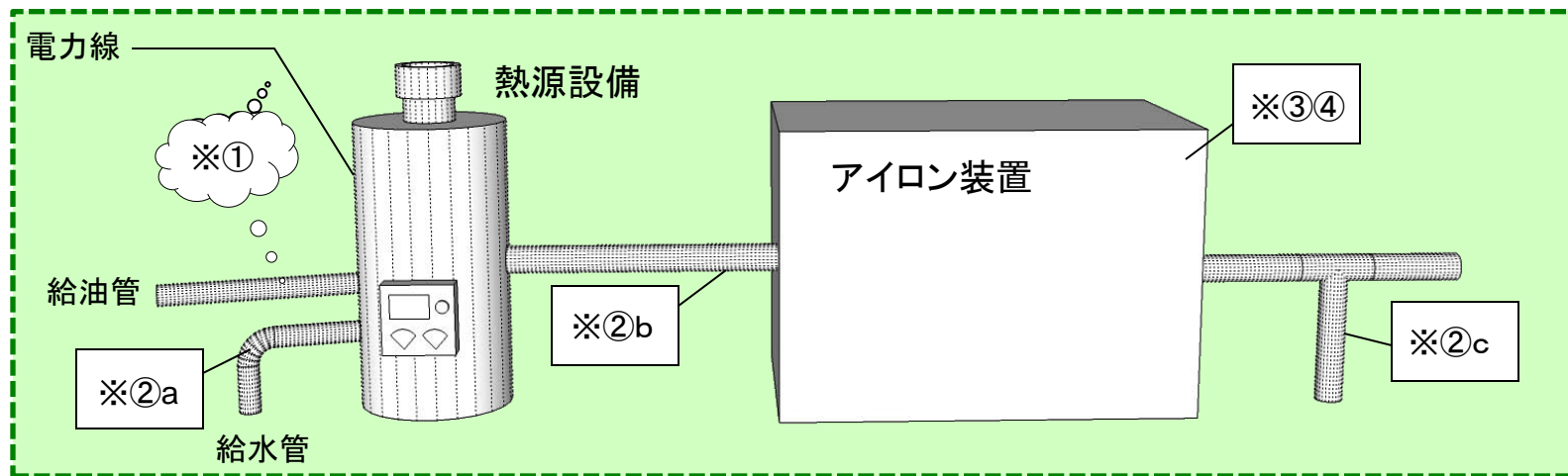
【プロジェクト概要】

蒸気を利用するアイロン装置を新設・更新する際に高効率型の装置を導入し、稼働に必要な蒸気量と電力量を削減することで、蒸気を生成しているボイラー等熱源設備で消費される化石燃料の消費量と電力量を削減し、CO2排出量の削減を行う

【プロジェクトの適格性基準】

- 条件1. 蒸気を熱として消費して稼働するアイロン装置の新設または更新であること。
- 条件2. 新設の場合、従来型アイロン装置に比べ必要な蒸気量が少ないアイロン装置の導入であること。更新の場合、ベースラインのアイロン装置に比べ必要な蒸気量が少ないアイロン装置の導入であること。
- 条件3. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと。

排出削減量の算定で考慮する範囲



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目(プロジェクト排出の算定のための項目)】

- ①ボイラー等熱源設備で蒸気を発生させることに伴う排出(化石燃料消費量、電力消費量)
- ②アイロン装置で利用された熱量に由来する排出(②a: ボイラー等熱源設備に供給される水のエンタルピー、②b: アイロン装置に供給される蒸気のエンタルピー、②c: アイロン装置から排出される蒸気ドレンの体積とエンタルピー)

※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目(ベースライン排出の算定のための項目)】

- ③アイロン装置の稼働時間(アイドリングタイム等を除いたアイロン装置の正味稼働時間)
- ④アイロン装置で処理された仕事量(アイロン装置で乾燥処理する対象物)

【プロジェクト概要】

家庭や公共施設等で使用されている灯油ストーブ等で化石燃料を使用するのに替えて、薪ストーブで国産の木質バイオマス(薪)を使用することで、排出量の削減を行う

【プロジェクトの適格性基準】

条件1. 薪ストーブの導入により化石燃料等が削減されること

条件2. 使用される薪は、日本国内で産出された木質バイオマス(林地残材(未搬出間伐材、枝葉等)、間伐材等)であること ※建築廃材は対象外

条件3. オフセット・クレジット(J-VER)の発行対象となる薪ストーブの使用者について、①オフセット・クレジット(J-VER)制度への参加意思の確認、②薪で代替される化石燃料等の種類、③購入した薪は全てストーブ燃料として利用することへの同意、について何らかの方法により把握すること

条件4. 使用される薪は、販売されているものであること ※林地等で自ら調達した薪は対象外

＜未利用材の収集＞



国産の木質バイオマス
(林地残材(未搬出間伐材、
枝葉等)、間伐材等)

排出削減量の算定で考慮する範囲

＜国産材の運搬＞



※①

＜薪の加工＞



※②

＜薪の運搬＞



※③

＜薪ストーブでの薪使用＞



※④

※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

①国産材の運搬に伴う排出(運搬車両の軽油等消費量又は平均燃費・走行距離) ※同一都道府県内の運搬に伴う排出は算定対象外としてよい。

②薪の加工に伴う排出(薪加工設備で使用される化石燃料・電力等消費量)

③薪の運搬に伴う排出(①と同様) ※同一都道府県内の運搬に伴う排出は算定対象外としてよい。

④販売された薪の体積(伝票)、容積密度※、発熱量※、薪ストーブの効率※、代替された暖房機器の効率※ ※デフォルト値の適用可。